

## 令和 2 (2020) 年度道病連総会報告

7月2日(木)、道病連総会を行いました。今年度は感染症対策として遠隔会議システム「Zoom」を使用しての実施となりました。理事校の札幌市立山の手養護学校、北海道手稲養護学校、そして事務局校の北海道八雲養護学校の3校をつなぎ、滞りなく進めることができました。関係者、協力してくださった方々に感謝申し上げます。

今年度は北海道における今後の病弱虚弱教育と道病連の在り方について、主に以下の3点が議題となりました。

- ①北海道の独自組織の発足（北海道病弱虚弱教育研究会、以下「道病研」）
- ②「道病研」の役員名等の変更
- ③新組織の規約

令和3年度から病連組織内の北海道地区は東北地区と合併し、「北海道東北地区病弱虚弱教育研究連盟」となります。そのため、「道病連」という組織は解散となり、道病連としての研究大会は、北海道東北病連で行っていくこととなります。

それにより、道内開催の研究大会は7年に1回となり、また、道外への大会参加には旅費などの懸案事項が出てきます。

さらに、道内の病弱虚弱教育の専門性を維持・継承し、その発展を中心的に支える組織がなくなり、研究・研修を行う機会の保障が維持できなくなることになります。

以上の点から、北海道の独自組織として、これまでの道病連が担ってきた活動を可能な限り継承していく、道病連に代わる組織の発足が必要となります。今回の総会において参加会員の合意をもって決定いたしました。



それに伴いまして、役員名の変更について承認を図りました。北海道東北地区病連の役員名と混同しないようにするため、右のように変更となります。

また、新組織の規約については、大きな変更箇所としては役員名、会計の2点となりますが、合わせて承認を図り、決定いたしました。

現行	変更後
理事長	会長
副理事長	副会長
理事	※廃止、事務局次長へ
監事	(変更なし)
事務局長	(変更なし)
	事務局次長(新設)
事務局員	(変更なし)
事務局会計	(変更なし)

次年度からは新しい組織になり、総会、研修会ともに第1回からのスタートとなります。北海道における病弱虚弱教育のさらなる発展に向けて、歩みを進めていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。